

## Lesson20 <関係代名詞1>

### 20-1 解説

#### Point1 関係代名詞のはたらき

- (1) 名詞を修飾する形容詞節をつくる。→ 修飾される名詞を先行詞という。
- (2) 代名詞のはたらきをしながら、同時に接続詞のはたらきをする。

[比較] I have a pretty doll. (形容詞)  
I have a doll made in Japan. (形容詞句 = 分詞)  
I have a doll which has blue eyes. (形容詞節(関係節) = 関係代名詞)

#### Point2 主格の関係代名詞

- (1) 主格の関係代名詞 who, which, that……先行詞が人か物・動物かによって使い分ける。
  - ① 先行詞が人→who [例] I have a friend who(that) can speak French.
  - ② 先行詞が物・動物→which [例] He has a dog which(that) has long ears.

※ that はどちらにも使える。  
※ 関係節の動詞は先行詞の人称・数に合わせる。

#### (2) 主格の関係代名詞の作り方

- ① 前の文と後ろの文で、同じものを指す単語に下線を引く。

I know a boy. He swims well.
- ② 先行詞がどちらか確認。→説明される名詞を先行詞にする。

I know a boy. He swims well.
- ③ 後ろのHe は人なので who にする。物なら which にする。

I know a boy. who swims well.
- ④ 最後に who で導かれる関係節を、先行詞 a boy の直後につける。

I know a boy who swims well. 完成

#### (3) 主格の関係代名詞と分詞

- ◎ 形容詞節が《関係代名詞+be 動詞+分詞》の場合には、関係代名詞と be 動詞を省略できる。
- [例] Look at the girl (who is) sitting on the bench.